

(一社)九州観光推進機構 活動レポート

— 2014年11月号 —

10月のトピックス

○ 旅行会社向け説明会・相談会の実施(10月1日:広島市)

「平成27年度上期観光素材説明会・相談会」と「おんせん県おおいたDC説明会」を広島ガーデンパレスで、おんせん県おおいたDCと共催しました。旅行社18社・43名、メディア4社・7名、県関係44名の計94名の方に参加いただきました。

全体を4部構成とし、DC説明会を特別に取り込み、九州への誘客に弾みを付けた内容としました。特に、東九州自動車道の開通に関する情報及び高速道路キャンペーンをお知らせしました。また、第4部の「おんせん県おおいたの夕べ」では、大分県産の食材のグルメを堪能し改めて大分県の魅力を再認識して頂きました。



○ 総合特別区域評価・調査検討会による現地調査(10月2日:福岡市)

総合特別区域法における特区指定(平成25年2月15日)及び計画認定(平成26年6月28日)を受けた九州アジア観光アイランド総合特区について、総合特別区域基本方針に基づき、内閣府・内閣官房へ総合特別区域事後評価書を提出しました。また、10月2日に総合特別区域評価・調査検討会による現地調査が実施されました。

現地調査では、規制の特例措置等を活用し、平成25年度から新たに実施した「地域活性化総合特別区域通訳案内士(特区ガイド)育成等事業」を含む総合特区概要、博多港における外国クルーズ客船寄港の状況等、当特区に係る説明や意見交換を行いました。

評価・調査検討会における評価結果は、総合特別区域基本方針に基づき、国より公表される予定です。



○ 観光プロモーション at 羽田(観光庁主催)(10月3日~5日:東京)

観光庁主催事業「観光プロモーション at 羽田2014」の実施団体として、航空プロモーション「空行け!九州」の中押しPRを兼ねた九州誘客イベントを羽田空港で行いました。これは、全国から応募のあった14団体から九州観光推進機構が実施団体として3年連続で選ばれたものです。今回は、時期的にも秋の旅行需要最盛期の開催となり、福岡県は「ふくおか官兵衛くん」が登場し官兵衛ブームに沸く福岡の魅力を紹介、東九州2県も東九州自動車道のまもなくの開通をアピールするなど、各県交代で最新観光情報を空港利用者に発信しました。

また航空6社も、CAによる航空利用促進活動の告知のあと、九州の名産品やモデルプレーン・航空券などが当たるゲーム大会などを実施し、多くの人でにぎわいました。

3日目には8月に続き再度 Rev. from DVL(3名)に九州応援隊として登場いただき、メディア(新聞・

テレビ4社)の取材を受け、メディアを利用した消費者への直接告知も行いました。

空港という限られたスペースの問題もありながら、集客数15,000人(昨年より1,000名増)を越える関東地区の航空利用者にアピールでき、アンケートも予定の300枚以上を回収しました。



○ 雑誌への取材協力(10月3日:鹿児島県)

講談社の雑誌「TRANSIT(26号)」の連載企画「TRANSIT via NIPPON」の中で、バンド「くるり」の岸田繁氏が、鹿児島県の美山や霧島の工房や観光スポットを巡る企画に協力しました。24・25号の長崎・佐賀に続いての企画で、鹿児島は次号27号に紹介予定の熊本エリアと併せての取材でした。若くて旅に興味のある世代に対して、九州の旅をアピールする内容となりました。

※「TRANSIT」…季刊/約3万部



○ 韓国教育放送EBSによる九州温泉旅館撮影(10月5日~10日:佐賀県、熊本県、大分県)

韓国教育放送EBSの「世界見聞録アトラス」という番組で日本旅館紀行をテーマに九州の温泉旅館を取材しました。歴史や物語がある武雄温泉、嬉野温泉、黒川温泉を撮影し、ダイエットプログラムに取り組んでいる大分県竹田市の宿の紹介も入れ、豊かな自然と温泉を韓国にPRしていただきました。



○ 旅行会社向け説明会・相談会の実施(10月8日:福岡市)

「平成27年度上期観光素材説明会・相談会」と「おんせん県おおいたDCの説明会」を西鉄イン福岡で開催しました。参加者は、旅行社21社・101名、メディア10社・19名、県関係51名の計171名を集めました(共催:おんせん県おおいたDC)。

全体を4部で構成し、DC説明会を特別に取り込み、九州への誘客に弾みを付けた内容としました。又、東九州自動車道の開通に関する情報及び高速道路キャンペーンをお知らせしました。

第3部の「九州7県との相談会」は、ゆっくりとした会場できめ細かな相談会を実施しました。また、第4部の「おんせん県おおいたの夕べ」では、大分県産の食材のグルメを堪能し改めて大分県の魅力を再認識して頂きました。



○ 「九州観光・物産フェア2014」(10月11日~13日:東京)

今年度で8回目となる「九州観光・物産フェア2014」を代々木公園で開催しました。会場では、九州各地の魅力あるグルメを提供するとともに、観光クイズラリーや九州の特徴ある体験イベントを実施し、ステージでは航空3社による「空行け!九州」キャンペーンなどを実施するなど、首都圏の方々に九州の観光情報を紹介しました。

期間中は、デング熱や台風上陸の影響もあり、昨年度の約26万人を下回ったものの、約20万人もの方々にご来場いただきました。また、千人を超える方々に観光クイズラリーに参加いただくとともに、アンケートにご回答いただきました。



○ ムスリム対応に向けたインドネシア・マレーシア旅行会社招請

(10月14日～18日:福岡、佐賀、長崎、熊本、大分)

ムスリム市場の訪日旅行拡大の為の商品造成の実現と、ムスリム対応施設の環境整備を目的として、インドネシア・マレーシアのムスリム系旅行会社を招請(10社・12名)しました。4泊5日で長崎・阿蘇・別府を視察後、福岡でムスリムセミナーを開催いたしました。セミナーでは今回参加いただいた旅行会社を代表して5名の方から感想やアドバイス、今後の可能性等について、発表がありました。

今回の招請事業を契機に、マレーシアの旅行会社9社全てが共同で九州商品を造成・販売することが決定しており、11月1日よりマレーシアの新聞等で募集を開始することとなっています。今後は九州

とムスリム系旅行会社との連携を強め、一人でも多くのお客様に九州を訪れてもらえるよう取組んでいきます。



○ 北九州市立大学にて特別講義(10月18日:北九州市)

北九州市立大学北方キャンパス本館で、当機構高橋事業本部長が「九州観光の現状と展望～九州の観光戦略～」というテーマで特別講義を行いました。九州第二期観光戦略と機構の取り組みについて説明しながら、観光は平和産業であり九州にとって有望な成長産業であると結びました。また、九州オルレについて、現地コースの映像や写真を使いながら、11月に開催される「九州オルレフェア」も紹介しました。この講義は、生涯学習の一環として地域住民も対象に含めた講座でもあり、当日は幅広い年代層の方が参加され、活発な質問や意見が出されました。



○ 日本広報学会にて基調講演(10月18日:熊本市)

日本広報学会第20回全国大会が、熊本市東海大学熊本キャンパスにて開催されました。その中で当機構石原会長が「観光を九州の基幹産業に～活力ある九州に向けて～」と題し基調講演を行いました。少子高齢化、人口減少、財政赤字、増大する社会保障費と大きな課題を持つ九州にとって観光産業は有望な成長産業であり、裾野の広い産業とされています。講演では、九州の観光戦略と取り組み、SNSを含めた情報発信等について触れ、さらに市場創造に向けての全国の最近の事例紹介も行いました。

第二部のパネルディスカッションでは、「グローバル時代におけるコーポレート・コミュニケーション戦略」について活発な議論がなされ、盛況のうちに終了しました。

○ JRプロモーション事業への協力(10月21日～22日:鹿児島、熊本)

近畿・中国地区の旅行会社の担当者を九州に招待し、鉄道利用による九州方面の旅行商品造成の強化や、窓口販売の際の販促を目的とした現地研修を実施しました。

今回は旅行会社から35名の参加があり、JR九州「大分VS鹿児島キャンペーン」と連携した鹿児島のスポット、またJR西日本の「熊本キャンペーン」等と連携した熊本のスポットを巡りました。参加者は各スポットで、ガイドや施設の方の説明を熱心に聞き、メモや写真を取りながら、活発に質問なども行われ、有意義な研修となりました。



○ MOU（協力覚書）締結した中国旅行会社との意見交換会(10月21日:上海)

今年9月に中国と九州の双方向の観光交流拡大に向けたMOUを締結した中国旅行社（上海市、南京、無錫、蘇州、杭州）と、今後のMOUの運用について意見交換会を開催しました。初の開催でしたが、中国旅行社からは20社・23名が参加、また上海日本総領事館及び日本政府観光局（JNTO）上海事務所からもオブザーバーとして出席いただき、総勢32名による熱心な意見交換が行われました。この意見交換会は、今後定期的に中国で開催される予定であり、相互協力を図ることで九州への送客が期待されます。

○ ベトナムでの訪日旅行セミナー・商談会への参加(10月22日、24日:ハノイ、ホーチミン)

当機構としては初めてのベトナム（ハノイ・ホーチミン）での商談会に参加しました。ハノイでは日本側28団体、現地側32団体、ホーチミンでは現地側45団体に参加しました。商談会では現地旅行会社の皆様は新しい旅行先を開拓しようと熱心に商談をおこなっていました。商談会当日の合間をぬって大手旅行会社を訪問しましたが、今後の取り組み次第では九州への来訪者数が大きく伸びる手ごたえを感じました。今後、九州の魅力の発信を継続していきたいと思えます。



○ 九州オルレイメージ映像製作（韓国における「九州オルレ」ブランド情報発信事業の一環）

(10月26日～30日:福岡県、佐賀県、熊本県、大分県)

韓国における九州オルレ情報発信事業は、新聞・雑誌・フリーペーパーやインターネットなど様々な媒体を通じ、九州オルレ各コースの紹介と、温泉やグルメなど周辺の魅力を発信します（9月～2月）。その一環で韓国済州放送KCTVによる九州オルレイメージ映像製作のため、九州オルレ各コースを撮影していただきました。約6分間の映像で、九州オルレの紹介及び温泉、グルメなどの歩いて感じる九州の魅力を発信していきます。



○ 毎日新聞への取材協力(10月27日:佐賀県)

毎日新聞（大阪本社版：夕刊）の連載企画「ご縁発見 九州探訪」の中で、佐賀県唐津市の九州オルレ唐津コースを中心に巡りながら、秀吉との繋がりを紹介する内容に協力しました。この企画は今後も、関西と九州の繋がりを旅の記事として、2ヶ月に1度のペースで紹介することで、九州への誘客に資する内容としていきます。

※ 毎日新聞（大阪本社版：夕刊）…127万部



○ 静岡県議会文化観光委員会の視察(10月30日:福岡市)

九州観光推進機構の広域的な取組に注目いただいた静岡県議会文化観光委員会の皆さん15名が、九州観光推進機構の視察にお出でになりました。

視察事項として事前に提出された、組織の特徴を生かした施策、国内誘致促進のための取組や、九州アジア観光アイランド特区ガイドの概要について説明を行いました。質疑応答の後、視察団を代表し、和田委員長から、視察受入のお礼とともに、今回の視察を今後の静岡県議会活動の参考にしたいと発言されました。

なお、今年度の県議会の視察受け入れは、7月の山形県議会(台風の影響で資料提供のみ)、8月の島根県議会、10月16日の愛媛県議会に続いて4回目となります。



○ 2014年度第2回運営協議会を開催(10月31日:福岡市)

本年度第2回目の運営協議会を開催し、22名の委員の皆さんにご出席(代理出席含む)いただきました。

会議では、11月13日に開催される第3回理事会に提出される事業計画の変更や補正予算を含む審議事項3件、報告事項3件について意見交換を行っていただき、原案で理事会に提案されることが確認されました。



また、宮崎県及び鹿児島県の委員からは、えびの高原硫黄山の現状について報告いただき、正しい情報提供について依頼がありました。

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 後藤エグゼクティブアドバイザーからのMessage



活動レポート10月号でご報告しておりましたが、後藤靖子さん(九州旅客鉄道株式会社 顧問)にエグゼクティブアドバイザーを委嘱しました。

このたび、後藤さんからメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

みなさんこんにちは。後藤靖子でございます。

この度、ご縁がありまして、九州観光推進機構のエグゼクティブアドバイザーに任用していただきました。大変、微力ではございますけれども、精一杯努力してまいりたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

個人的なことを申し上げて恐縮ですが、私は1997年、1998年と九州運輸局で企画部長を務め、その時以来、九州の皆さまと大変親しくお付き合いさせていただいております。

九州運輸局にいた時に出会いました九州の皆さまから、「観光は地域を活性化する力がある」ということを教わり、それ以後、この言葉が、観光に対する私の仕事の基本であったと思っております。

この度、こういう形でまた、ご一緒にお仕事をさせていただくことは大変光栄なことだと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(プロフィール)

1980年運輸省入省。観光部企画調査室長、JNTO ニューヨーク事務所長、山形県副知事、国土交通省北陸信越運輸局長、大臣官房審議官、国土交通政策研究所所長など

10月2日の委嘱以降、早速、毎週の定例打合せに参加いただいています。

また、国土交通省勤務時代に携われた観光統計の整備の経験を基に、現在、観光に関する各種統計の有り方についても、広範な分野でアドバイスをいただいています。



○ 11月以降の主な事業

- ・韓国における「九州オルレ」ブランド情報発信事業（9月～2月：韓国内）
- ・欧州WTMロンドン出展及びパリ・アムステルダム旅行会社プレゼン・商談会
（11月3日～7日：英国・フランス・オランダ）
- ・香港テレビ番組招請（11月4日～13日：九州7県）
- ・台北国際旅行博ITF2014出展（11月7日～10日：台北）
- ・第26回九州地域戦略会議（11月11日：長崎市）
- ・九州観光推進機構第3回理事会（11月13日：福岡市）
- ・中国国際旅遊交易会（CITM2014）出展（11月13日～16日：上海）
- ・2014秋九州オルレフェア（11月15日～30日：全7コース）
- ・旅行会社向け説明会・相談会の実施（11月19日～20日：金沢市）
- ・フィリピンでの訪日旅行セミナー・商談会への参加（11月19日、21日：マニラ・セブ）
- ・クルーズ・ SHIPPING・アジア・パシフィック2014出展（11月20日～21日：香港）
- ・修学旅行九州現地視察会（11月22日～24日：福岡県・大分県・佐賀県・長崎県）
- ・香港メディア（活字媒体）招請事業（11月24日～28日：九州各県）
- ・マレーシア華僑系旅客取扱旅行会社招請（11月24日～28日：九州内）
- ・欧州旅行会社及びメディア招請
（11月24日～12月1日：福岡県、佐賀県、鹿児島県、長崎県、熊本県、大分県）
- ・総合特区に係る担当者会議（11月25日：福岡市）
- ・タイの旅行会社招請（11月26日～30日：鹿児島県、宮崎県、熊本県、大分県）
- ・台湾人気ブロガー招請（12月1日～5日及び1月下旬：九州各県）
- ・中国山東省旅行社招請（12月上旬：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県）
- ・九州オルレマスコミ・旅行社等招請事業（12月5日～8日：福岡県、大分県）

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人 九州観光推進機構 企画部 吉田

TEL:092-751-2943（代表）

092-751-2946（国内誘致推進部^タヤルイン）

092-751-2947（海外誘致推進部^タヤルイン）

FAX:092-751-2944

E-mail: infokyushu@welcomekyushu.jp